

## 入学おめでとう！春にはピカピカ1年生 平成24年度小学校入学予定者

平成24年度の町内各小学校の新入学予定者は、苫前小学校9名、古丹別小学校11名の計20名（平成24年1月1日現在）となっております。以下に記載された入学予定者以外で苫前町に在住（転入）する該当者がいらっしゃいましたら、お早めに町教育委員会管理課学校教育係（☎64-2384）までお申し出下さい。

### ◇苫前小学校（9名）

宮前 瞳子(伸之)、猪股 真央(祥子)  
 久野 光輝(裕樹)、佐藤 海音(隆裕)  
 岩井 啓悟(直人)、安田 衣咲(友男)  
 佐藤 有紗(公彦)、越後 温(和己)  
 小林 悠之(博之)

### ◇古丹別小学校（11名）

齊藤 旺佑(卓)、川村 鷲(和彦)  
 真田あゆみ(博幸)、後藤 大和(博)  
 清水のどか(徹)、水野 玲奈(香織)  
 伊藤 楓(雅史)、宮本 瑞妃(篤史朗)  
 佐野 晶斗(康彦)、杉本 七海(晃典)  
 吉川 唯華(秀洋)



\*敬称略（ ）内は保護者名

## 安全運転で交通事故防止を ～冬場はなお一層の注意を～

羽幌警察署  
 (☎61-1110)

また、前の座席だけでなく、後部座席もシートベルトを着用しましょう。

- 吹雪等の悪天候時の運転は控える
- 夏場より10km/h以上のスピードダウンを行う
- 車間距離は、乾燥路面の2倍以上の間隔をおく
- 前照灯などを点灯し、自車の存在を明確にする
- 視界不良時は駐車帯や空き地等に一時避難して天候回復を待つ
- 無理な追い越しは絶対にしない
- 急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキをしない

1月15日午前10時頃、本町字昭和の町道苫前高台2号線において、軽四輪乗用自動車同士による交通死亡事故があり、同乗していた78歳の男性が亡くなっています。事故発生時は地吹雪による視界不良であったこともあり、悪天候における交通事故を防止するためにも、ドライバーの皆さんは次のことを心掛けてください。

## JA 苫前厚生クリニックよりお知らせ

皮膚科 外来日は

2月・・・2月9日(木)、23日(木)  
 3月・・・3月8日(木)、22日(木)

大変混み合いますので、なるべく事前の電話予約をお願いいたします。

不明な点がありましたら電話でお気軽におたずね下さい。(☎65-3535)

受付 1時～4時15分



## JA 苫前厚生クリニック

## 商工会よりお知らせ

プレミアム地域振興券とラッキー賞商品券の使用期間は、2月15日(水)までとあと数日となりました。地域振興券・商品券をお持ちの方は、期日までにお忘れのないようご利用ください。

期日が過ぎると券の利用ができなくなるとともに、現金との引き換えはできませんので、ご注意ください。

お買い物は町内で

苫前町商工会 (☎65-4121)

「ご厚志に感謝します」

社会福祉協議会へ

○三 豊 竹 内 ミチ子 様

港町内会へ

○三 豊 竹 内 ミチ子 様

岩見町内会

○岩 見 宮 崎 重 夫 様

岩見親和会

○岩 見 宮 崎 重 夫 様

小川親睦会へ

○小 川 大 橋 亘 様

## 戸籍の小箱

ご成長をお祈り申し上げます

氏名 父・母 出生日 住所

村本 一太(長男) 竜前/咲 12月21日 昭和

謹んでお悔やみ申し上げます

氏名 年齢 死亡日 住所

竹本 和良 73 12月21日 古丹別

竹内 哲男 80 12月22日 三 豊

伊藤 正一 61 12月23日 旭

福原 福蔵 81 12月25日 古丹別

能戸 芳信 83 1月1日 古丹別

湯川 ミサ子 72 1月5日 古丹別

丹羽 福蔵 78 1月15日 長 島

宮崎 カズ子 81 1月18日 岩 見

## 屋根の雪下ろしに注意を

積雪量が多くなってきておりますが、道内で屋根の雪下ろし中に誤って転落や雪とともに落下などで亡くなられる事故が増加しております。

屋根の雪下ろしを行う際は落下防止用の命綱を装着するなどの備えをお願いします。

羽幌警察署

## 風力発電の売電状況

(町営風来望3基分)

23年度の実績 42,583,822円  
 (H23.3~H24.1)

平成24年1月分の実績

・供給電力量 352,380kWh  
 4,421,488円  
 (昨年実績 5,018,623円)

## 苫前町の交通事故情報

平成24年1月の事故状況

発生件数 死者数 負傷者数  
 1件 1人 3人

平成24年1月末までの累計

発生件数 死者数 負傷者数  
 1件 1人 3人

1月31日現在で 16 日

北海道苫前町議会 2012 ～住民の意見と行政に～

# 議会だより No.86

苫前郡苫前町字旭37番地1 TEL64-2385

議会報発行特別委員会

委員長 田沢 收  
副委員長 千葉 勇一  
委員 阿部 俊一  
// 西 大志  
// 小倉 哲志  
// 青木 幸隆

**一般会計** 補正額 6億6,572万8千円追加  
総額 41億1,804万8千円  
補正の主なもの

■一般会計

- ・北海道市町村備荒資金組合納付金超過納付金 6億0,000万円追加
- ・苫前幸寿園スプリンクラー整備事業補助金 796万円減額
- ・児童虐待防止対策緊急強化事業分木製遊具購入費 258万円追加
- ・保育実施委託料 1,569万円増額
- ・鳥獣被害防止総合対策事業分電気柵設備購入費 354万円減額
- ・町有林天然林間伐工事（小川69.12ha） 1,795万円追加
- ・新日本海地域交流センター指定管理料（修繕料） 150万円増額

■九月豪雨災害復旧

- ・昭和長島線道路災害復旧工事 246万円追加
- ・岩見川南1号線道路災害復旧工事 566万円追加
- ・小川線道路災害復旧工事① 97万円追加
- ・小川線道路災害復旧工事② 1,544万円追加
- ・八号沢川河川災害復旧工事 419万円追加

特別会計

- 国民健康保険 1,988万円追加 総額 5億4,645万2千円
- 介護保険（保険事業勘定） 4万4千円追加 総額 3億9,270万6千円
- 介護保険（サービス事業勘定） 1万1千円追加 総額 1,478万7千円
- 簡易水道事業 446万4千円減額 総額 1億7,293万6千円
- 下水道事業 157万7千円減額 総額 2億9,251万5千円
- 風力発電事業 127万5千円追加 総額 5,211万5千円

平成二十三年第四回定例会は、十二月十九日開会され、町長提出の予算六件、条例三件、その他一件、議員提出の意見案二件をいずれも原案どおりに可決、同日閉会した。

## 平成二十三年第四回定例会

### 主な議案と質疑

〔条例〕三件

・幼牛哺育センター設置並びに管理に関する条例を廃止する条例

施設の老朽化に伴い、解体工事を施工したことによる廃止。

質 阿部議員

施設の解体工事に伴う条例廃止か。廃止に伴って幼牛の哺育はどのようになっていくのか。

答 小丹保農林水産課長

施設の老朽化が進んでいることから、国の交付金で解体工事を行った。幼牛舎哺育センターでの哺育事業は数年来より行っていないかった。

・学校給食共同調理場の設置及び管理等に関する条例の一部改正

給食運営委員会の委員に学識経験者を加えることで衛生管理体制の整備を図るもの。

質 阿部議員

現行十二名以内から十五名以内に変更。  
学校薬剤師は何名いるのか、十二名から十五名に変更する理由は何か。

答 開発管理課長

学校薬剤師は一名である。人数変更は薬剤師以外の学識経験者を選任する場合の余裕をみるため。

・苫前町職員の給与に関する条例の一部改正

平成二十年からの給料減額措置（独自削減五％）の期間を短縮し、終期を平成二十三年十二月三十一日までと改め、平成二十四年一月から行政職給料表などに定める給料の月額に還元する。



幼牛哺育センター

【一 般 会 計】

**質 青木議員**

備荒資金組合への納付に関して、委員会や協議会で事前説明がない。また、積み立てる前に繰上償還などは考えなかったのか。

**答 山田総務財政課長**

事前説明も考えたが、定例会で説明をすることを。繰上償還には保証金の支払いが発生する。保証金が免除されるものはこれまでも繰上償還してきた。今後、繰上償還など様々な検討を重ねたい。

**質 千葉議員**

苦前幸寿園スプリンクラー整備事業のところで減額があるが、当初予算との比較で減額の額が大きいがなぜか。

**答 池田町民課長**

スプリンクラーを設置するための当初計画から、北海道補助金の額が上積みになったため、町の持ち出しが減った。

**質 千葉議員**

電牧柵の購入費の減額は入札執行残で減額とのことだが、未施工区間などがあつたか。

**答 小丹保農林水産課長**

入札執行残の減額であり、事業予定から実施においては、変更はない。

**質 阿部議員**

備荒資金組合の運用方法として国債、地方債を活用するが、安全な選択肢と考えているのか。財政指標に対する影響なども考慮したのか。

**答 山田総務財政課長**

安心・安全な運用方法で、利率等有利なものを活用するように考慮した。また、積立、引き出しもある程度自由にできる有用性も考えた。

**質 西議員**

予算残金を備荒資金組合に積立するとしたが、選挙後の政策的な予算をしっかりと充てることになかったからこれまでの額を残してしまったという要因があるのか。

**答 森町長**

以前より、備荒資金組合に積み立てたかった。自治体として

不安定な要素が強いため、ある程度の額を積立しておきたいとの判断である。

**質 田沢議員**

エンジンカの駆除費用があるが、鳥獣有害駆除として、昨今のヒグマの出没などを考えると、春グマ駆除の必要が出てくると感じるが。

**答 小丹保農林水産課長**

現在、春グマ駆除は行っていない。町が独自ではできないため、道への申請などの必要事項が出てくる。



東川で箱ワナにかかったクマ

**質 阿部議員**

保育料が園児の増に伴って、大幅に増額しているのはなぜか。中途は日割りで計算されるのか。

**答 池田町民課長**

苦前保育園・古丹別保育所で当初六十三名だったが、十名増えて七十三名となった。二歳児以下の保育単価が高いので、要

因としてあげられる。中途入所は日割りで計算される。

**質 阿部議員**

消防費の人員費で次回議会にて改定とのことだが一月一日にさかのぼるのか。

**答 山田総務財政課長**

町職員の条例に準拠される。今回事務処理上の関係から補正が間に合わず次回の提案になるが、一月一日からになる。

**【その他 一件】**

・豪雨災害による農業用施設災害復旧事業の施行について

施行するにあたり、議決を得て、北海道知事へ工事計画の報告をする必要があるため。

・農業用施設災害復旧事業（排水路）

- 九重地区（延長六四m） 計画費 五七一万円
- 岩見地区（延長一四〇m） 計画費 一、一五七万円

**「北海道市町村備荒資金組合」とは何ですか？**

加入する北海道内全市町村の災害による減収を補てんし、または災害応急復旧事業費、その他災害に伴う費用に充てるための積立金に関する事務を共同で処理する一部事務組合。

**臨時 会**

平成23年 10月11日 開催

一般会計予算補正の主なもの

・九月豪雨による災害復旧事業（小規模単独災害）

河川三箇所

一五四万一千円追加

道路七箇所

二六九万七千円追加

**臨時 会**

平成23年 11月11日 開催

一般会計予算補正の主なもの

・苦前ダム下流河川水位観測設備補修

二九万四千円増額

・新日本海地域交流センターろ過昇温循環ポンプ取替

一〇一万四千円追加

・町道旭一号線単独災害復旧工事

二〇七万九千円追加

・国営かんがい香川系用水路復旧工事

二一九万二千円追加



# 一般質問

西 議員 登壇  
千葉議員

## 町内学校の整備へ

### 本格的な議論のスタートへ向けて



西 議員

国の地震防災対策特別措置法による公立学校施設の耐震化事業において嵩上げ措置が平成二十七年まで延長され、当町の各学校施設整備の計画はどのようになっているか。制度の活用にて整備を行う考えであるとしたら、学校の再編との関連をどのように考えていくか大きな焦点になってくると感じる。

制度の活用にて耐震化の整備を行うとき様々な課題がある。時間的なことや財政的なこと、なにより一番は子どもたちの教育環境をしっかりと保つこと。こうした議論をスタートするためにも、決定に至るまでのプロセスを重視した進み方をとるべ

きだろうと思う。こうした視点に立ち、次の点を質問する。

一、平成二十七年まで耐震化のための施設整備を行うとして逆算した際、議論は一刻も早い方が良く考える。スケジュールを示され、その方向性を伺う。計画がなければ、以後の学校施設についてのあり方を伺う。

二、仮に、平成二十七年末まで整備を完了するとした場合、町内の学校の再編も同時に考えていく予定か関連性を伺う。

学校の再編についても議論の対象とするのなら教育委員会だけの話ではなく、地域全体の課題であるため議論の方法はしっかりと示されなければならぬ。この議論についてどのように進めるつもりでいるか。

三、計画の立案、進行及び将来展望・構想などについて情報提供をしっかりと行い、一方的な発信にならぬよう、双方向での

共有化の確認や、具現化した動きを示すべきと考えるが。



苫前小学校校舎



古丹別小学校校舎

## 答弁 伊藤教育長



一、町内小中学校の配置については今般の小中学校改築に合わせ、将来展望に立って再編をも視野に入れて行うことが、今後のまちづくりにとっても有益な判断行動に結びつくと考えている。

この配置に係る計画においては各種コスト面での課題協議はもとより、子どもたちの教育環境の在り方を最優先すべき協議事項であると捉える観点は、地域全体にとって課題解決への共通要素である。

二、平成二十七年を最終年度とした耐震化への取り組みについては可能と判断をしている。

本年度の教育行政執行方針で本年度中に配置を含めた方向性を示すとしている。これまでも教育委員会では教育委員と教育委員会係長以上の職員との協議、町内小中学校長、教頭、小中学校のPTA会長などと町内の小中学校の在り方についての協議

を行っており、狭義的ではあるが意見を聴取している。

その後、町との間で両小学校の耐震化実施に向けた意向を確認し、教育委員会定例会において再度「町立学校の施設の整備計画について」の協議を行った。

学校配置の方向性について独自協議をしており、その在り方について建て替えを軸に単独・併設・併置・統合などについてのケース検討を重ねて、それらのメリット・デメリットについて協議をしてきた。

また、関係課職員によるワーキンググループにてあらゆる方向の課題抽出と解決手法について協議し、結果をまとめるに至っている。ワーキンググループの位置づけはゼロベースからの協議であり、結論を求める場とはせず、設置方法や建設方法、財政面等多くの課題が想定され、課題の共有と解決方法等について今後予定される関係者や関係機関への説明に必要な資料整備を協議する場とする。

また、町内の両中学校は既に耐震対応済であるが、将来を見据えた配置についても協議をし、必要に応じて関係職員からの意見を聴取する。

三、現在の予定では、(仮称)苫前町立学校建設検討委員会を

## 地域経済活性化と

### 観光資源について

設置し、町長へ提言する形をもって学校の配置及び環境整備、施設内容等に関する事項について検討していただく予定である。検討では住民からの意見、当委員会での協議内容、ワーキンググループの報告書から出された見解などを基として、議会へは検討段階に応じた状況報告を逐次行いながら、住民総意による学校建設に取り組む所存である。



千葉議員

#### ●地域経済の活性化と

##### プレミアム振興券について

建設完了までには基本設計、実施設計、建設・完成、解体の流れになる。

平成二十四年三月までの短期間ではあるが、仮称委員会組織を早急に立ち上げ、住民説明会を行いながら町民各位からの様々な意見聴取を実施するとともに、本年度中に方向性を見出す予定と考えているが、結論までにさらに協議時間を要するとした際は、平成二十四年三月の決定時期に固執することのない対応が想定される。

このことから次年度以降、継続しての実施が望まれることから、今後も適切な助成が必要と思うため、次の二点について伺いたい。

一、プレミアム振興券に対する所見と助成に対する考え方は。

二、地域経済活性化に向けた新たな対策はあるのか。

#### ●観光資源「夫婦愛の鐘」について

三、上平地区にある「夫婦愛の鐘」が老朽化により著しく破損している現状にあることから、修繕または移設が必要と思う。「夫婦愛の鐘」は、当町ホームページや留萌管内ガイドブックにも載っていることもあり、問い合わせもあることから、対応を望むところであるため伺いたい。



上平地区に設置している夫婦愛の鐘

## 答弁 森町長



一、現在の地域経済情勢を踏まえると引き続き町民生活と、地元購買力の確保に向けた取組にあたり、他産業との連携を踏まえた何らかの支援施策が必要と思われることから、今後の消費動向を見極めながら柔軟に判断してまいりたいと考えている。

二、今後、街中の空洞化が懸念されることから、空き店舗などを活用した地域住民の憩いの場となる仕掛けづくりを實踐し、地域活性化に向けたまちの賑わい対策や高齢者の健康・見守り対策を含めた総合的な地域活性化対策を関係機関に加え、地域住民と共に検討し、できるものからしっかりと対応したい。

三、観光協会上平部会と風車の丘維持管理業務に関わる次年度以降の打合せにあたり、課題解決に向けた解決方策について地域と連携を図りながら充分検討し対応してまいりたいと考えている。

地域との合意形成が整わないうちに夫婦愛の鐘を移設するという拙速な判断は差し控えたい。引き続き地域の宝としてしっかり守っていただくことが肝要と考えている。

## 議会を傍聴しませんか？

一般質問があるのは  
3・6・9・12月です。

#### 傍聴するには

- 町民課窓口で受付後、傍聴券をもらえば傍聴できます。
- ※ 録音、写真・ビデオ撮影などはできません。
- ※ 発言等も禁止です。



委員  
会  
レ  
ポ  
ー  
ト

# 医療対策や森林事業など 調査・議論が展開される！

～各委員会・協議会のダイジェストをレポート～

**総務産業  
常任委員会**  
平成23年  
10月11日  
開催

① 苦前商業高校対策支援

苦前商業高校後援会から要望のあった項目

新入学生徒の入学祝い金 九〇万円

検定試験受験料補助 二四万円

震災就学支援事業 七〇八万円

・新入学生徒の入学祝い金は「入学支度金」として一人五万円支給。  
・検定試験受験料補助として、検定料を検定種目により補助する。

・震災就学支援事業については、行わない。



苦前商業高等学校校舎

**総務産業  
常任委員会**  
平成23年  
11月24日  
開催

① 職員の給与改定

・人事院勧告に基づく給与改定  
△〇・二三%

・独自削減の廃止及び廃止に伴う給与改定（五％）  
改定及び廃止時期

平成二十四年一月一日

② 子育て支援対策事業「児童虐待防止対策緊急強化事業」

木のおもちゃ購入（木の砂場・砂場用の小物品など）  
予算額 二五八万三千元  
（全額道より補助）



木のおもちゃ

③ パスポート受給申請受理・交付に関する事務移譲

現在、留萌振興局で申請していたパスポート受給申請事務が羽幌町役場窓口で行えるようになる。

実施時期 平成二十四年四月

④ 広域火葬場使用料金等

平成二十四年八月供用開始予定の広域火葬場の工事は建設行程どおりに進んでいるが、現段階においての資料説明があり、本町の議会として共通の認識を深めるための趣旨説明が行われた。現在は、組合職員・三町村の担当職員等事務レベルにより使用料についての協議が進められているが、今後は、副町長会議、組合議員による本格的な協議の後、衛生施設組合の議会で決定される。



広域火葬場イメージ図

⑤ 森林整備加速化・林業再生事業

事業主体 苦前町  
事業内容 間伐搬出間伐  
六九・一二ヘクタール  
工事費 一、七九五万八千円

**全員協議会**  
平成23年  
11月7日  
開催

① 岩見地区テレビ共聴施設復旧工事補助金

十月二日の落雷により同地区のテレビ視聴が困難となり、共同受信施設組合と連携し復旧工事をするもの。  
「支援要請額」  
工事金額 一六一万八千円  
助成額（五〇％）  
八〇万九千円

**全員協議会**  
平成23年  
11月11日  
開催

① 財政健全化の完了

本町財政は過去の大型事業による公債費の増、地方交付税の削減、町税の減収などにより危機的な状況にあった。  
平成二十年に町財政健全化プランを作成し、抜本的な体質改善に努め、更に地方交付税、臨時財政対策債等の増加により健全化を判断、今後は収支の均衡を図り、各種財政指標を分析し財政規律の強化など財政計画を策定。

今後の具体的な取組として健全化プラン以前の復元を検討する。  
「検討項目」

- 各種公共施設の使用料減免割合改訂
- 産業道路除雪費負担率
- 一般職給与の削減
- 地域集会所施設維持補助金
- 普通建設事業費の上限枠設定

### 臨海地域 特別委員会

平成23年  
11月11日  
開催

#### ①新日本海地域交流センターの 今後における修繕等

施設オープンより十一年を経過し施設維持保全が必要、小破修繕予算内(二〇〇万円)での処理にも限界があり検討が必要、大規模修繕も計画的に対応する。

### 臨海地域 特別委員会

平成23年  
12月5日  
開催

#### ①新日本海地域交流センター指 定管理者の応募

平成二十四年四月一日から五年間、新たな指定管理者の選定に向けて事務の経過について説明した。

- ・公募説明会・施設見学会 四社
- ・応募団体 二社

### 医療対策 特別委員会

平成23年  
12月5日  
開催

#### ①留萌管内における広域的取組 状況(留萌中部北部地域医療 対策協議会並びに留萌地域自 治体病院等広域化連携検討会 議)

留萌中部北部地域医療対策協議会は本町から天塩町までの町村長、副町村長、議長、医療対策課長で組織、医療提供体制の充実と地域住民の医療と福祉向上を目的に、道立羽幌病院を含む二次医療に関して北海道や国に要望等を行っていくことを確認した。

また、留萌地域自治体病院等広域化連携会議は、自治体病院等広域化・連携構想により組織留萌圏域の自治体病院等の広域化や連携のあり方についての検討を目的に組織されている。

#### ②北海道内における医療対策地 域行政視察

・更別村国民健康保険診療所  
同診療所は北海道家庭医療学センターからの医師派遣を受けて運営していることなどを含め、運営状況の説明を受けた。

- ・十勝いけだ地域医療センター(池田町立病院)

同センターは公益社団法人地域医療振興協会が指定管理者として運営していることなどを含

め、運営状況の説明を受けた。  
③苫前厚生クリニック  
九月末日現在の利用人数・収支状況は、計画数値を上回っていることなどを含め、説明を受けた。



苫前厚生クリニック

議会だよりに対する  
ご意見・ご要望は  
メールかFAXで  
下記までお寄せ下さい

Eメール  
gikai@town.tomamae.lg.jp  
FAX 64-2142

## 届け意見！ ～国へ意見書を提出～

### 「漁船用軽油にかかる 軽油引取税の免税等に関 する意見書」

昨今の漁業をとりまく情勢は、コストに占める燃油費のウエイトが極めて大きいことから、燃油価格の高騰によるコストの上昇に加えて構造的な魚価の低迷のなかで収入面においても厳しい状況にあり、漁業経営は深刻の度を深めている。さらに、燃料として主に軽油を使用している沿岸漁業地域においては零細漁業者も多く、軽油引取税の免税措置が廃止されると漁業経営は一段と圧迫され、漁業者は廃業にさえ追い込まれかねない。

このような中、国民に対する水産物の安定供給を確保するためには、漁業者の経営安定が必要である。

食料産業の存続のためには、軽油引取税の免税措置は不可欠な措置を求めめる旨を要望する。

### 「環太平洋経済連携協 定に反対する意見書」

政府は環太平洋経済連携協定(TPP)交渉への参加を表明した。

今、政府が行うべきことは足腰の強い農林水産業を構築し、農山漁村を再生させることである。

よって、国においてはTPP協定が地方の産業と国民生活に及ぼす影響について、十分な情報提供とあわせて国民的な議論を行うとともに、引き続き道民・国民合意のないまま、関税撤廃を原則とするTPP協定には参加しないことを重ねて強く要望する。

### 編集雑感

平成二十三年も終わり、国際的にはEUの財政危機、国内では三月の大震災そして道内、本町においても熊騒動と例年のように頭を悩ます一年でした。

新しい年も昨年の影響を引きずる年となりますが、一時も早い回復を願うものです。

町民皆様方におかれましても充実した一年を送られますよう祈念いたします。  
(文責 小倉)



古丹別小学校児童の作品

『料理研究ノート』

4年 清水 将くん

写真の周りをきれいに切って、字を見やすいように書くのをがんばりました。



『レターラック』

4年 大井 未来さん



思ったよりきれいにはやくできたし、レースのところが上手にできたので、うれしかったです。



『おかしの家 (ヘアゴム入れ)』

4年 秋山 百知さん

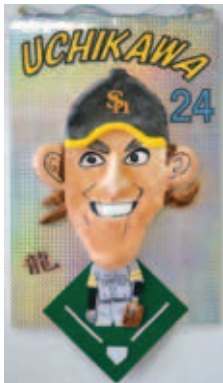


思ったよりリアルにできたのでよかったです。特にガーナショコラがうまかったです。



『内川聖一選手』

5年 工藤 龍之介くん



内川選手の特ちょうをつかんでつくれました。

『マスコット』

5年 杉野 佳奈さん

マスコットは小さくてぬうのが大変でした。



『顔面アタック ミニバスケット』

5年 松浦 美亜さん



顔面アタックでは上手に顔を作れました。ミニバスケットはモールの三つあみがよくできました。



『凧』

6年 林 寿美玲さん



バックの英語を書くのが大変でしたが、全体的に色をきれいにぬれてよかったです。また、骨組みを作るところも上手にできてよかったです。

『みつあみマフラー』

6年 年代 結香さん



マフラーは毛糸のめをおとして時間がかかったけど、うまくできてよかったです。ポンポンはもう少し丸みをつけたいと思いました。



『バスケット』

6年 川森 大夢くん

クラフトテープを交差させて色のちがうテープを、その元々あったテープに入れるのが難しかったです。



ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

その行為ちょっと待った！ ～犬・猫を飼っている方をお願い～

野良猫にエサはダメ！ ネコを屋外で放し飼いにすると、病気や交通事故など非常に危険です。また、他人の庭や車庫に入り込むなど周囲にも迷惑を掛けることとなります。ネコへのしつけは飼い主の方が責任をもって行いましょう。 周りの方々も不用意にネコへエサを与えないようにしましょう。

野良猫にエサはダメ！



その行為、子供に見せられますか？

犬のフンは 持ち帰りを 道路や公園にフンを放置したり、人の土地にフンを投げ捨てたりなど「飼い主のマナーが悪い」との苦情が後を絶ちません。 きれいな町で犬と仲よく暮らすことができよう一人ひとりが心がけましょう。 袋は持って歩くだけではダメ、拾って持ち帰りを。